

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 21-4

担当部局・担当課名: 商工労働部 商工企画課

事業名	ローカル5G活用生産性向上推進事業	評価結果	役割分担見直し/ 現行どおり
-----	-------------------	------	-------------------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・製造業こそ富山の基幹産業であるという考えを貫き、応募が少ないからといって枠を広げるのではなく、基幹産業である製造業を対象とすることにもこだわってほしい。
- ・ビックデータの活用などのDXに積極的に取り組む企業が、5Gを導入することで更にどのようにステップアップが見込まれるか、というところまで落とし込むことが重要。
- ・事業の目的が企業の生産性を向上させることであれば、その手段としてのツールがローカル5Gのみというのはかなり限定され過ぎているように感じる。
- ・県内には中小製造業が非常に多いと聞いている。そういった企業のIoT活用やデジタル化率がもっと高まってからローカル5Gの検討をした方がよいのでは。
- ・導入を促すセミナー等の中で、どういう声があるのかをもう少し酌み上げたくうえで業種について再検討してもよいと思う。

【県民評価者の意見】

- ・5Gはまだ普及が始まったばかりであり、いきなり世の中の企業が対応するとは思えないので、どうすれば企業がより効率的になるか、利益が上がるか、そういった具体的な情報の発信をしていけば、もっと導入の後押しができるのでは。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

16

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめる)	役割分担 見直し (国がやる)	抜本的改善 (相談会のやり方 や補助の仕組み を変える)	一部改善 (企業ヒアリング等 を実施しやり方を 見直す)	現行どおり・拡充 (今までどおりやる)
	3	5	3	0	5

県民評価者の 主な評価 シート コメント	評価結果と 同じ評価	<p>【役割分担見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5Gの必要性がまだ感じられない。企業も設備投資が必要になるため、具体的な利点がないと導入しない。 ・まずやってみればよいのではないか。しかし国の仕事ではないか。 ・セミナー開催を多くする。導入事例を共有する。 ・5Gは中国が先行し、事実上の標準にしようとしている。日本も、5G技術を浸透すべく、国策として行うべき。ローカル5Gを活用するなら、まずは水道、ガス、電力など県のインフラへ。 <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5Gは普及し始めたばかりなので、企業でも必要であれば5Gの導入を検討するだろうから方針を変えずに進めればよい。 ・5Gの導入は今後企業として当然必要になってくるものと思われる。他県の導入事例を参考にして、富山県でも補助金を活用した第1号の導入事例ができてほしい。 ・5Gには今の製造業の取組を大きく変える可能性があるはず。それを県と企業が一緒になって考えていくという姿勢が必要。 ・県内企業の生産性向上を応援することは重要。ローカル5Gについて勉強したことを企業に広く伝えることで県全体のレベルアップになる。
	上記以外	<p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5Gは一つのツールにすぎないため、IoT支援事業の一環として実施すればよい。 ・生産性向上は、民間企業がそれぞれのニーズに応じて自主的に取り組むべき課題であり、当面はローカル5Gの事業効果、先進事例の紹介等に努めるべき。 <p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野に対する知識が行政では限られるのであれば、富山大学や県立大学の理系学部でローカル5Gを導入し、若く自由な発想で5Gを活用してもらい研究の中で得られる成果をフィードバックしてもらえばどうか。 ・5Gを対象を限定することによって、補助対象企業がかなり限定されている印象を受けた。県産業の活性化という観点で考えると、対象を5Gに限定せず各社のDX化、IoT化の度合いに合わせた支援が必要と思われる。 ・あまり5Gの有効性が見えてこなかった。導入を進めることで大きな利点があるなら、ロールモデルを県で推し進めていき、有用性があることを強く示していければいいのではないか。

事業名	ローカル5G活用生産性向上推進事業	評価結果	役割分担見直し/ 現行どおり
------------	-------------------	-------------	-------------------

【参考】委員による評価

【参考】委員による評価					委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめる)	役割分担 見直し (国がやる)	抜本的改善 (相談会のやり方 や補助の仕組み を変える)	一部改善 (企業ヒアリング等 を実施しやり方を 見直す)	現行どおり・拡充 (今までどおりやる)	
	1	0	2	0	1	
委員 トの コ主 メな ン評 ト価 シ ー	<p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカル5Gは今後必要ではあるが、早急というわけではない。まずはIoTセンサーを普及させるべき。 5Gに限定する必要はあるのか。IoT、AI等を使いながら生産性向上でもよいのでは。ただし、セミナーや相談会などでの啓発は重要。 <p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> IoT等のツールも含めて情報収集し得るセミナーを開催してはどうか。 <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会がこれから本格化するにあたり、ひとまず今の事業計画で進めていけばよい。特にセミナーや相談会に力を入れるべき。製造業こそ富山の産業基盤という考えで強く押してほしい。 					

県の対応

対応方針	現行どおり	事業内容継続			
		○導入メリットが具体的に感じられるよう、補助金採択企業が得られた成果を紹介する内容のセミナーに見直すとともに、新たにローカル5G導入企業見学会を実施するなど、引き続きローカル5G導入に向けた普及啓発に取り組む			
R5当初予算 での対応	R5当初予算(案)	25, 530(千円)	R4当初予算	26, 600(千円)	増減額 ▲1, 070(千円)
	増減理由	・セミナーのオンライン配信経費の見直し(委託→直接執行)			

事業名	ローカル5G活用生産性向上推進事業	評価結果	役割分担見直し/ 現行どおり
------------	-------------------	-------------	-------------------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	25,530(千円)	前年度予算額	26,600(千円)	
		事業の目的	県内企業の生産性向上やDX推進のため、ローカル5G基地局整備等を支援			
		事業内容	①ローカル5Gの導入に向けた普及啓発等 (ローカル5GやLPWA等の無線通信技術を活用した事例紹介セミナー、相談会、ローカル5G導入企業見学会の開催) ②ローカル5Gの本格導入に向けた計画策定や実証事業等への補助 (生産性向上に資する5G導入計画や実証事業に取り組む県内企業にその経費を補助) ③ローカル5Gの本格導入に向けた基地局整備経費への補助 (ローカル5G基地局を導入する県内製造業(製造業を含む事業を行っている企業)へ、ローカル5G基地局整備に要する経費の補助)			
		積算内訳	①330千円、②・③25,200千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、新たに、導入企業への見学会を実施することとするなど、適切に見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	25,530(千円)			
要求時点からの変更点		変更なし				